

海 外 レ 海 ポ ー ト

シンガポール

～シンガポールにおける風水事情～

(財)自治体国際化協会シンガポール事務所 有満 みゆき



シンガポール生活も1年半が過ぎた。

高層ビルが立ち並ぶ光景も日常の風景として受け止められるようになり、真新しさが感じられなくなりましたが、7月に開催されたシンガポール日本商工会議所(JCCI)主催の「シンガポール風水ツアー」に参加し、風水が根付く新たなシンガポールの姿を発見でき、あらためてシンガポールの街並みを新しい視点で楽しむことができるようになりました。そこで今回はシンガポールの風水事情について皆さんに紹介することとします。

風水とは

「風水」とは古代中国の思想で、都市、住居、建物等の位置の吉凶禍福を決定するために用いられてきた、「気」の流れを物の位置で制御する思想です。シンガポールは国全体がまさにこの「風水」の考えに基づき設計されており、シンガポール人にとって生活、人生の全てにおいて風水はなくてはならない思想であると言われています。実際、就職や住宅購入の際には風水師にアドバイスを求めることが多く、シンガポールにはビルの店舗の全てが風水関係の店舗で占められている「風水ビル」なるものも存在します。

日本でも Dr.コパの風水が有名ですが、風水は地域や流派によって微妙に異なった思想であると言われています。

シンガポールの風水は『陰陽五行説』に基づいています。陰陽五行説とは、紀元前4～3世紀頃に別々の思想として生まれ発展した、「陰陽説」と「五行説」が結びついて確立した思想です。

「陰陽説」...世界の全てのものは、「陰」「陽」の2つの気から成り立っているとする二元論の思想。

「五行説」...宇宙は相互に関連し、循環する5つの要素で構成されているという思想。5つの要素とは「木」「火」「土」「金」「水」の5つの気を指し、これらが循環して宇宙を形作っている。

「五行」では、ある要素が他の要素を生み出す関係、例えば水は木を養い、木は燃えて火となり、火は燃えて灰が土になり、金属は冷えて水滴を作るといった、相生(そうしょう)という良い相互関係があり、シンガポールの繁華街であるオーチャード通りの建物にはこの考えが取り入れられており、互いに良い相互関係を築き、共に繁栄しようという考えに基づいています(後述)。

シンガポールの風水において理想的な建物の配置は、いわゆる肘掛け椅子(アームチェア)の形であるといわれています。椅子の背もたれにあたる部分には高い建物があり、左右の肘掛けにあたる部分には中央を囲むように建物を配し、中央の座る場所にあたる部分には平地があるという形です。左右と後ろの三方を囲むことで、中央に気呼び込むことができると言われています。本来であれば、山や丘などの自然の地形を利用したいところですが、シンガポールは土地が狭く、山もない平坦な地形であるため、高層ビルを山に、埋立地を平地と見立てて風水を利用しています。

風水を取り入れた設計

シンガポールではあちこちで風水を取り入れた設計を見ることができます。ここでは、その中のいくつかを紹介します。

・ シンガポール・フライヤー

シンガポールの玄関口であるチャンギ空港から車で中心地に入る際にまず目に入ってくる、日本の著名な建築家が設計した、世界最大の観覧車。直径 150m の巨大なホイールに最大 28 人乗りのカプセルが 28 台取り付けられています。開業当初は今とは逆周りであったが、多くの風水師から、「西から上がって東に沈むのでは太陽に逆らう。幸運がシンガポールから失われる。」という忠告を受け、莫大な費用をかけて改修したとのことです。



・ ホテル

ホテルも積極的に風水を取り入れています。シンガポールでは「8」「1」「3」が風水的に良い数字とされており、外壁に「13」と大きく記されたホテルや、窓の形を全て八角形にしたホテルもあります。また、オーチャードにあるホテルのエントランスは以前は通りに平行に設置されていましたが、風水師のアドバイスを受けて、45度の角度（シンガポールの風水ではとても良い角度とされています）で取り付け、噴水を設置したところ、集客力がぐんとアップし、現在も順調なホテル運営を行っているとのことです。



・ オーチャード

シンガポールのメインストリートであるオーチャードには多くのショッピングセンターがひしめき合っており、もちろん商売繁盛のため風水を取り入れています。例えば、ある商業ビルはオーナーのラッキー要素が「水」であったため、建物はブルー、建物の名前のロゴには水を連想させる波型のデザインが施されています（シンガポールでは水は財力を表しているそうです）。その2つ隣のビルは「金」の要素を取り入れ、入り口前には「金」を表す円錐形のモニュメントが設置されています。これら商業ビルは集客を競うライバル関係にあります。お互いに悪い「気」を送りあうようなことはせず、先に述べたように相生しながらお互い繁盛するようにしているとのことです。



・ ラッフルズプレイス、マリーナ地区

シンガポールには5つの龍（エネルギー）が棲んでいるといわれています。そのうちの3つの龍が重なり合うと言われている場所は、現在のシンガポールの政治・経済の中心となっており、世界中から企業や銀行のオフィスが集まってきています。中でも、その場所にあるサンテック・シティはシンガポール国内で最も徹底的に風水を利用したビル群です。5つの高層ビルを5本の指に見たて、手のひらにあたる中心に「富の噴水」という世界最大の噴水があります。噴水には良い「気」が流れ、幸運の源であると考えられており、この噴水の水を触りながら時計回りに3周まわると願い事がかなうと言われており、地元シンガポール人や観光客で賑わっています。



・ エスカレーターの位置

日本でデパートに行くときエスカレーターは図1のように配置されており、上の階までフロアをあまり歩くことなくスムーズに移動することができます。しかしシンガポールでは日本のエスカレーターのように配置されておらず、いちいち次のエスカレーターの場所を確認し、歩いて次のエスカレーターまで移動しなくてはなりません。なぜこのように非効率な設計かということ、次のエスカレーターまで歩く際に様々な店舗をみてもらうようにという工夫であると同時に、気の流れを店舗にとどめるための風水上の考えでもあると言われてしています。

図1 日本

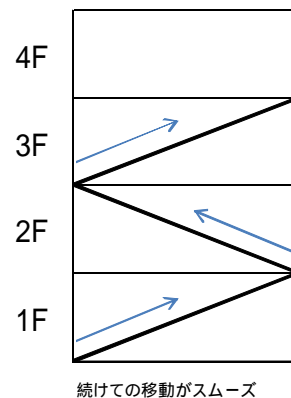
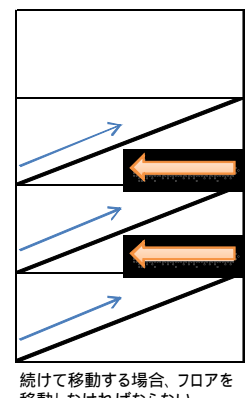


図2 シンガポール



このようにシンガポールは風水を取り入れて順調に経済発展を遂げてきました。現在は世界不況のあおりを受けているシンガポールですが、来年はカジノがオープンするなど明るい話題もあります。風水パワーでこの状況を打破してもらいたいものです。

【(財)自治体国際化協会シンガポール事務所のご案内】

住所：CLAIR SINGAPORE , 6 BATTERY ROAD, # 31-02, Singapore 049909

電話：(65)6224-7927 FAX：(65)6224-8376

このコーナーでは、鹿児島県の海外駐在員や海外派遣職員の方々のご協力をいただき、毎月海外からのフレッシュなレポートを掲載しています。レポートに関する皆様からのご意見・ご質問・ご要望等をおまちしております。